

エコアクション21 環境経営レポート

2024年度版

対象期間:2024年4月1日～2025年3月31日

発行日:2025年6月10日



株式会社グリーンテック

1. 事業活動の概要

(1) 事業者名及び代表社名

株式会社グリーンテック

代表取締役社長 荻原 哲也

(2) 所在地

本 社
珠洲合材工場

〒927-1236 石川県珠洲市若山町中14-1 TEL:0768-82-2210

輪 島 営 業 所

〒927-2174 石川県輪島市門前町広岡4-51 TEL:0768-42-1585

(3) 環境管理責任者及び担当者の連絡先

環境管理責任者

代表取締役社長 荻原 哲也

連絡担当者

土井 奈美栄

連絡先

〒927-1236 石川県珠洲市若山町中14-1

TEL:0768-82-2210 FAX:0768-82-2871

E-mail

doi_namie@paving-g.jp

(4) 事業内容

1. 建設業許可

石川県知事 許可(般-2) 第 10197号

建設業の種類

土木工事業、とび・土木工事業、
舗装工事業、

2. 合材工場の事業

アスファルト合材の製造・販売
産業廃棄物処分業(中間処理)

(5) 事業規模

従業員 21名

延べ床面積 126 m²

(6) 情報公開項目

設立年月 1988年4月(昭和63年4月)

資本金 1,000 万円

売上金 1,417 百万円 (2024年度)

組織図 別紙(エコアクション21 実施体制と役割)に掲載

(7)許可の状況

ア、許可の内容

1. 建設業

許可者	許可番号	許可年月日	有効期限
石川県	(般-2) 第 10197 号	2020.9.20	2025.9.19

2. 産業廃棄物処分業

許可者	種類	積替保管 有無	取得年月日 有効期限	許可番号	ガラスくず、コンク リートくず及び陶 磁器くず	がれき類
石川県	中間処理	—	2022年5月30日 2026年12月6日	第01726192318号	○	○

イ、施設の状況

・処理施設

施設の種類	破砕施設
取扱廃棄物の種類	ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず(コンクリート破片、アスファルト・コンクリート破片に限る。)、
処理能力	400 t／日(8時間)
稼働時間	8時間
処理方式	ミルクラッシャーによる破砕
構造・設備の概要	がれき類受入れ貯蔵設備、破砕設備、分級設備、製品貯蔵設備、粉じん抑制設備
その他	粉じん・振動・騒音防止対策済

・処理工程図(1)

廃棄物の種類／発生場所	収集運搬	中間処理	処分先	再資源化
がれき類／舗装箇所破砕現場	収集運搬会社	(株)グリーンテック	(株)グリーンテック破砕施設	再生骨材再生路盤材

ウ、処理実績

処分量(t)

産業廃棄物の種類	2022年度	2023年度	2024年度
アスファルト殻	2,071	8,092	1,535

2.対象範囲

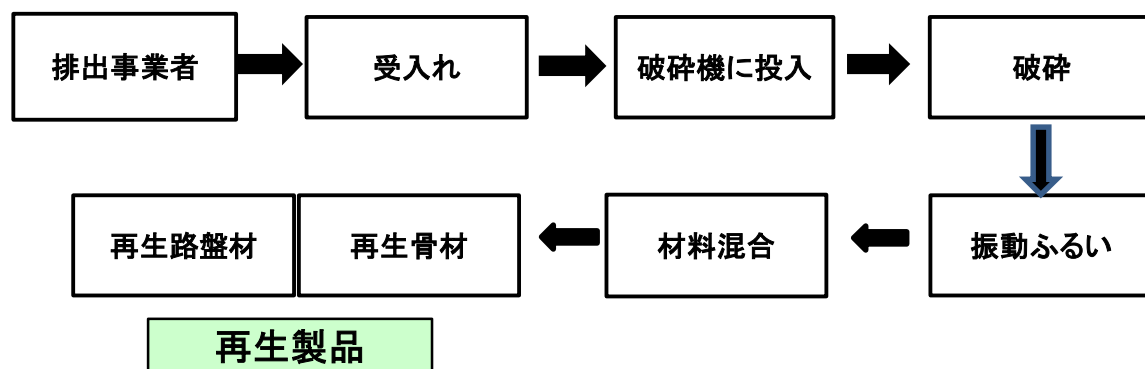
全組織 本社、珠洲合材工場、輪島営業所

全活動 建設業(舗装工事業)

アスファルト合材の製造・販売

産業廃棄物処分業(中間処理)

・処理工程図(2):アスファルト破碎プラント処理工程図



・産業廃棄物保管施設

産業廃棄物の保管施設	
保管施設の名称	がれき類の保管施設
産業廃棄物の種類	ガラスくず、コンクリートくず、及び陶磁器くず、がれき類（コンクリート破片に限る。）
面積	50m ²
容量	41m ³
高さ	2.0m
管理者の氏名及び連絡先	荻原 哲也 0768-82-2210

産業廃棄物の保管施設	
保管施設の名称	がれき類の保管施設
産業廃棄物の種類	ガラスくず、コンクリートくず、及び陶磁器くず、がれき類（アスファルト・コンクリート破片に限る。）
面積	952m ²
数量	2,842m ³
高さ	5m
管理者の氏名及び連絡先	荻原 哲也 0768-82-2210

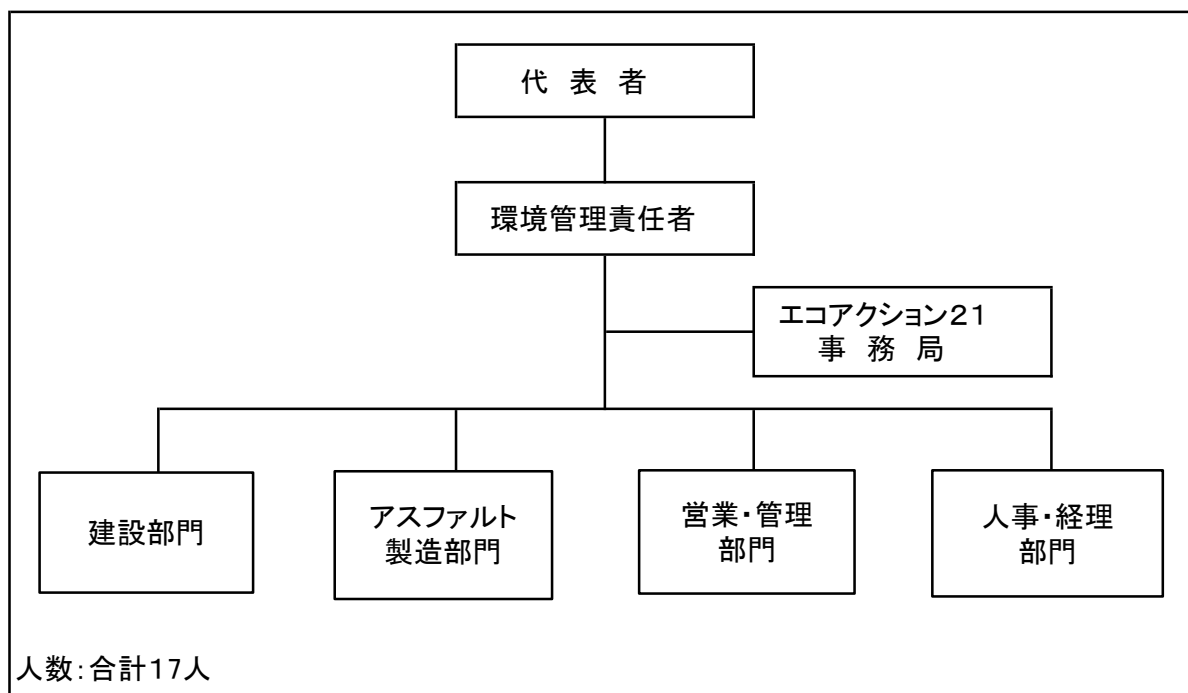
産業廃棄物の保管施設	
保管施設の名称	がれき類の保管施設（セメント・コンクリート破片）
産業廃棄物の種類	ガラスくず、コンクリートくず、及び陶磁器くず、がれき類（アスファルト・コンクリート破片に限る。）
面積	113m ²
容量	113m ³
高さ	3.0m
管理者の氏名及び連絡先	荻原 哲也 0768-82-2210

産業廃棄物の保管施設	
保管施設の名称	再生路盤材0-40の保管施設
産業廃棄物の種類	ガラスくず、コンクリートくず、及び陶磁器くず、がれき類（コンクリート破片に限る。）
面積	28m ²
数量	19m ³
高さ	2.0m
管理者の氏名及び連絡先	荻原 哲也 0768-82-2210

産業廃棄物の保管施設	
保管施設の名称	破碎製品の保管施設
産業廃棄物の種類	ガラスくず、コンクリートくず、及び陶磁器くず、がれき類（アスファルト・コンクリート破片に限る。）
面積	36m ²
容量	48m ³
高さ	2m
管理者の氏名及び連絡先	荻原 哲也 0768-82-2210

2. エコアクション21実施体制図

2022年4月1日現在



【役割・責任・権限】

責任者	役割・責任・権限
代表者	・環境経営方針を策定する ・エコアクション21の実行に必要な資源(人、もの、資金)を用意する ・環境管理責任者を任命する ・エコアクション21全体の取組状況を評価し、見直しを実施し、必要な指示を行う
環境管理責任者	・環境経営システムを構築・運用する ・環境経営システムの構築・運用状況を代表者に報告する ・環境関連法規の遵守状況をチェックする ・外部からの苦情や要望に対応する ・問題点に対して是正処置及び予防処置を行う
エコアクション21事務局	・環境経営目標に関するデータを集計し、環境管理責任者に報告する ・廃棄物の秤量を行う ・外部からの苦情や要望を受け付ける ・エコアクション21に関する文書と記録を管理する。 ・環境経営目標に関するデータの確認と従業員への周知を行う ・環境経営計画の実施状況の確認と従業員への周知を行う ・環境管理責任者を補佐する
従業員	・環境経営計画の具体的な取組み内容を実行する

3. 環境経営方針

1. 基本理念

株式会社グリーンテックは環境保護活動の継続的改善に努め、生物多様性を考慮し、「環境保護と経済活動の両立」実現に向けて、社員が一丸となり、貢献します。

2. 行動指針

(1) 全従業員は環境関連法規を順守して、環境整備及び適正な事業活動の継続的な推進に努めます。

(2) エコアクション21を継続的に改善し、環境経営のステップアップを実践します。

(3) 収集運搬時等の事業活動において排出される二酸化炭素の低減に努めます。

(4) 節水をし、水使用量の削減に努めます。

(5) 社員が生き生きと働ける職場環境を整備していきます。

(6) 環境経営方針は、全ての従業員に周知し、社外の求めに応じて開示します。

(7) 廃棄物を再利用し、循環社会に貢献します。

2024年4月1日

株式会社グリーンテック

代表取締役 荻原 哲也

4. 環境経営目標とその実績

過去の実績

環境目標	単位	2021年度	2022年度	2023年度	2024年度
売上高	百万円	339	324	504	1,417
二酸化炭素排出量	kg-CO2	530,666	452,477	616,458	664,712
売上高原単位	kg-CO2/百万円	1,565	1,397	1,223	469
購入電力	kg-CO2	140,927	135,810	124,688	133,786
A重油	kg-CO2	237,667	194,307	351,108	344,170
軽油	kg-CO2	112,643	85,395	102,558	146,152
ガソリン	kg-CO2	33,640	34,380	34,452	37,006
灯油	kg-CO2	5,789	2,585	3,653	3,598
産業廃棄物の中間処理量	トン	3,830	2,071	8,092	1,535
産業廃棄物再資源化の推進	%	100	100	100	100
リサイクル率の向上	%	100.0	99.9	99.8	99.8
水使用量の削減	m ³	339	242	151	502

(購入電力の排出係数はバンブー:0.441 kg-CO2/KWh,大和ハウス工業(株):0.542 kg-CO2/Kwh を使用。)

購入電力

震災後の停電も復旧し、合材出荷も増えていた為、CO2排出量が増加した。

A重油

前年度と同様に2024年1月の地震による道路災害復旧工事の増加により合材出荷が増えていたものの、

2024年9月の豪雨災害により出荷できなかったこともあり、A重油によるCO2排出量が多少減少した。

軽油

前年度と同様に地震による道路災害復旧工事のそうかにより移動距離が増え、軽油のCO2排出量が増加した。

ガソリン

軽油と同様に連絡車の移動距離が増え、ガソリンによるCO2排出量が増加した。

産業廃棄物の再資源化

受け入れたアスファルト廃材は、全て再生骨材や再生路盤材に再資源化している。

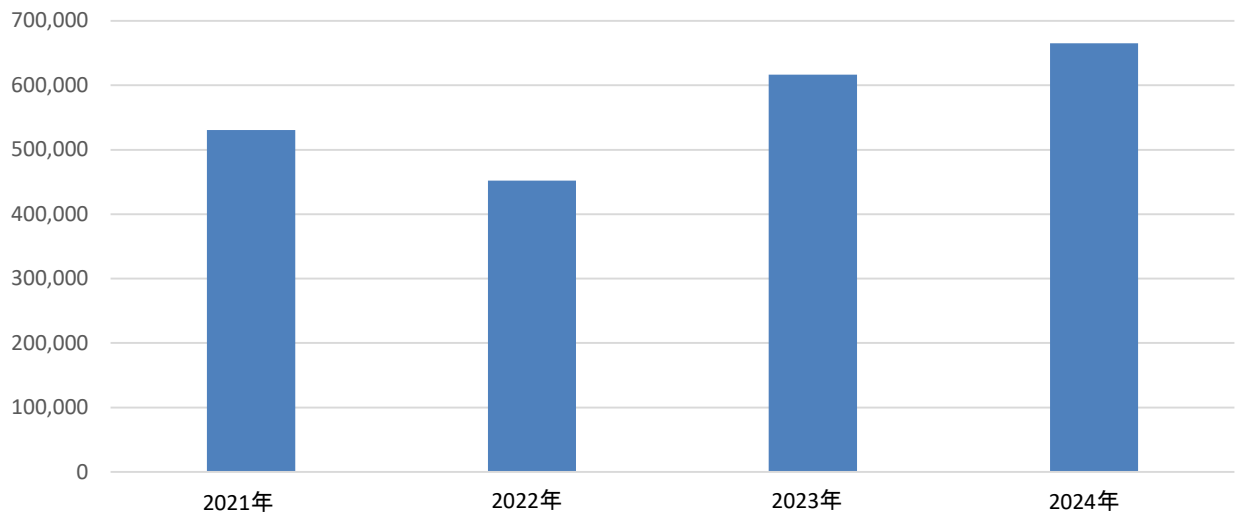
リサイクル率

舗装工事で発生するアスファルトとコンクリートはほとんどりサイクルしている。

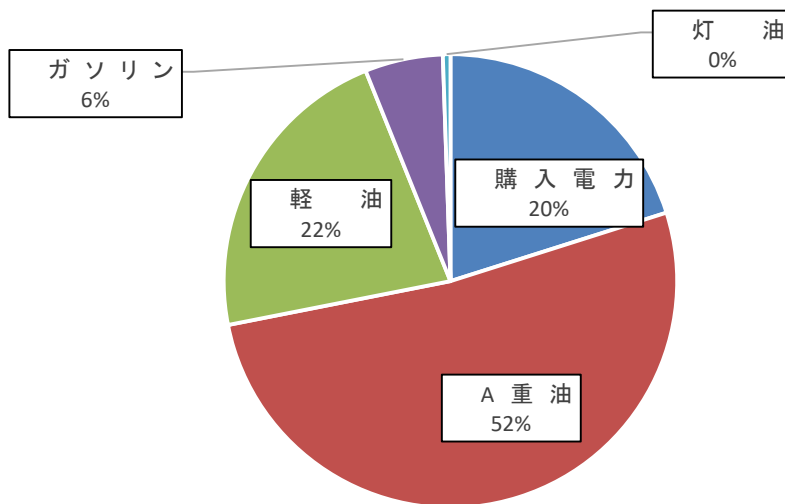
水使用量の削減

冬季しか利用していなかった水道を震災復興工事事業社に貸与、及び2024年9月の豪雨清掃により、震災前より大幅に増加した。

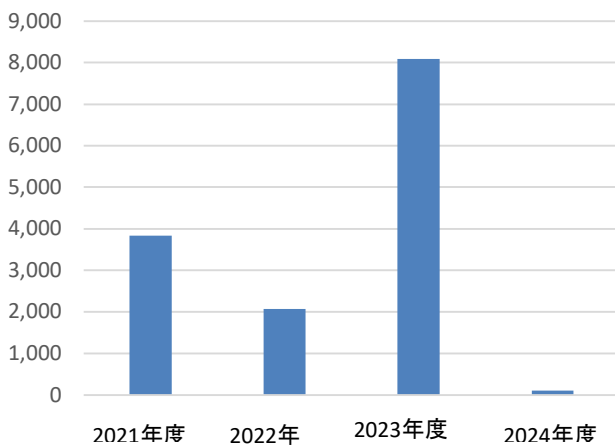
二酸化炭素排出量の推移(Kg-CO₂)



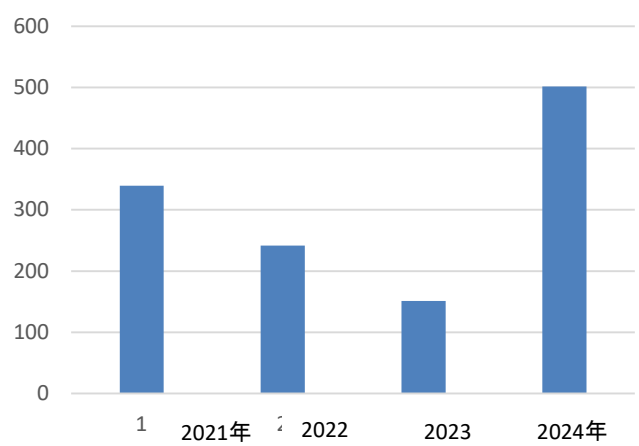
二酸化炭素排出量の内訳



産業廃棄物の中間処理量の推移(トン)



水使用量の推移(m³)



(今後3年間の目標)

環境目標	単位	2023年度 実績(基準)	2024年度 目標	2025年度 目標	2026年度 目標
売 上 高	百万円	504	1411	1421	1431
二酸化炭素排出量の削減	kg-CO ₂	616,458	610,293	604,190	598,148
売上高原単位	kg-CO ₂ /百万円	1,223	432	425	418
廃棄物排出量の削減	トン	100	—	—	—
リサイクル率の向上	%	99.8	97.0	97.0	97.0
水使用量の削減	m ³	151	149	148	147
環境配慮の取組	回	—	重機の始業前点検を行う		
			破碎施設の始業前点検を行う		

目標設定の考え方

売 上 高

2024年1月の地震により道路災害復旧工事が増え、合材製造出荷数量も工事も増えていた為、目標値を2023年度の280%に見直した。

今後も増えると見込み2025年度以降の目標値は前年の2%増とした

二酸化炭素排出量

2023年度の実績を基準として毎年1%削減とする。

廃棄物排出量

目標は設定せず、実績把握のみとした。

リサイクル率

毎年97%以上を目標とした。

水使用量の削減

2024年度以降は2023年度を基準として毎年1%削減とする。

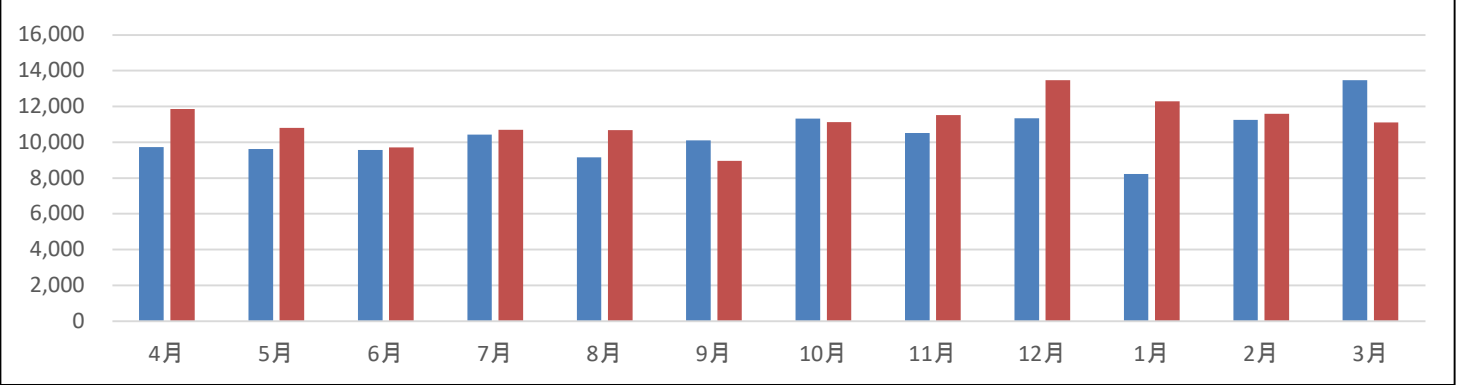
5. 環境経営計画の取組結果とその評価

取組期間: 2024年4月1日～2025年3月31日

活動: ◎よくできた ○まあまあできた △あまりできなかった ×全くできなかった

電力による二酸化炭素の削減	評価	取組結果と次年度の取組内容
担当：総務部 責任者：環境管理責任者		・ 2024年9月の豪雨の影響もあり、道路修繕工事が増え、合材出荷も増えた為、CO2排出量も増加した。 ・ 事務所内の節電努力が反映された。 次年度の取組：継続して行う
・ 合材プラントの稼働効率をあげ、電力の使用量削減を周知	○	
・ 室内設定温度の徹底(冷房28℃, 暖房20℃)	○	
・ 不要照明の消灯	○	

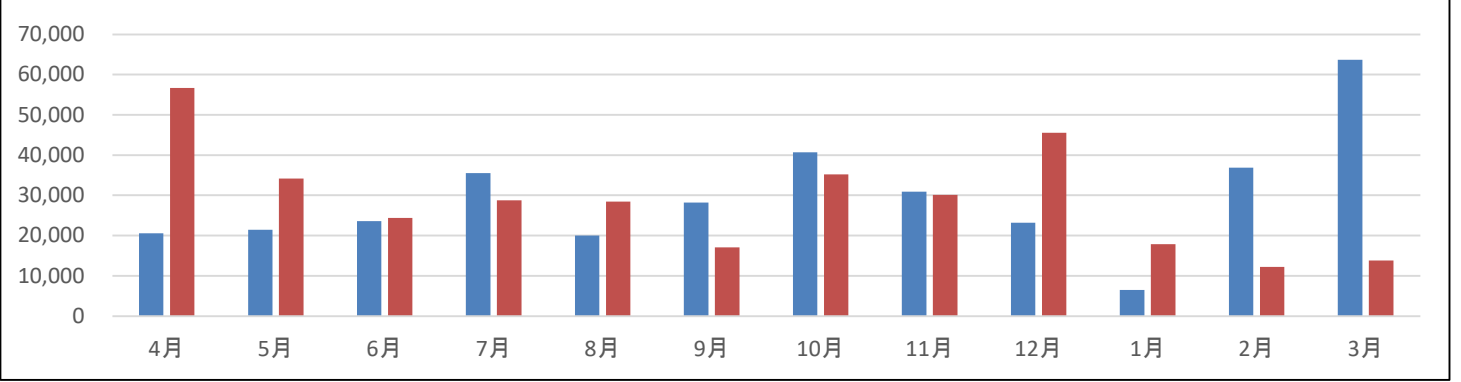
電力CO2排出量(kg-CO2)



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	累計
2023年	9,724	9,612	9,572	10,417	9,156	10,096	11,316	10,518	11,329	8,231	11,244	13,474	124,688
2024年	11,857	10,806	9,716	10,698	10,669	8,953	11,119	11,522	13,463	12,286	11,592	11,105	133,786

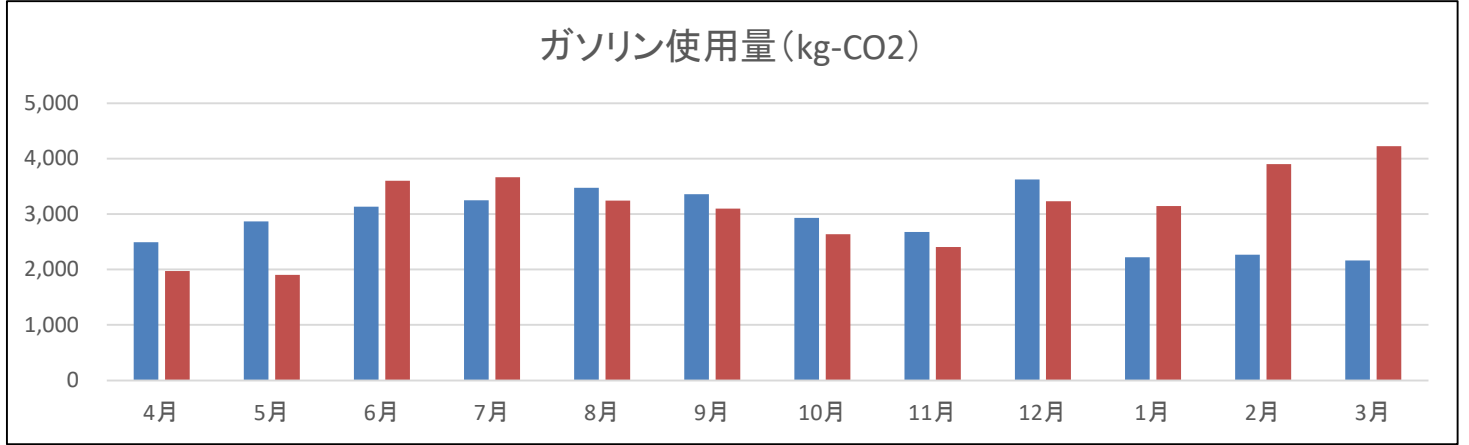
A重油による二酸化炭素の削減	評価	取組結果と次年度の取組内容
担当：総務部 責任者：環境管理責任者		・ 地震や豪雨による道路災害復旧工事により合材製造出荷が増えたが、冬季の出荷が少なかった為、A重油によるCO2排出量は減少した。 次年度の取組：継続して行う
・ 合材プラントの稼働効率をあげ、A重油の使用量削減を周知	○	

A重油CO2排出量(kg-CO2)

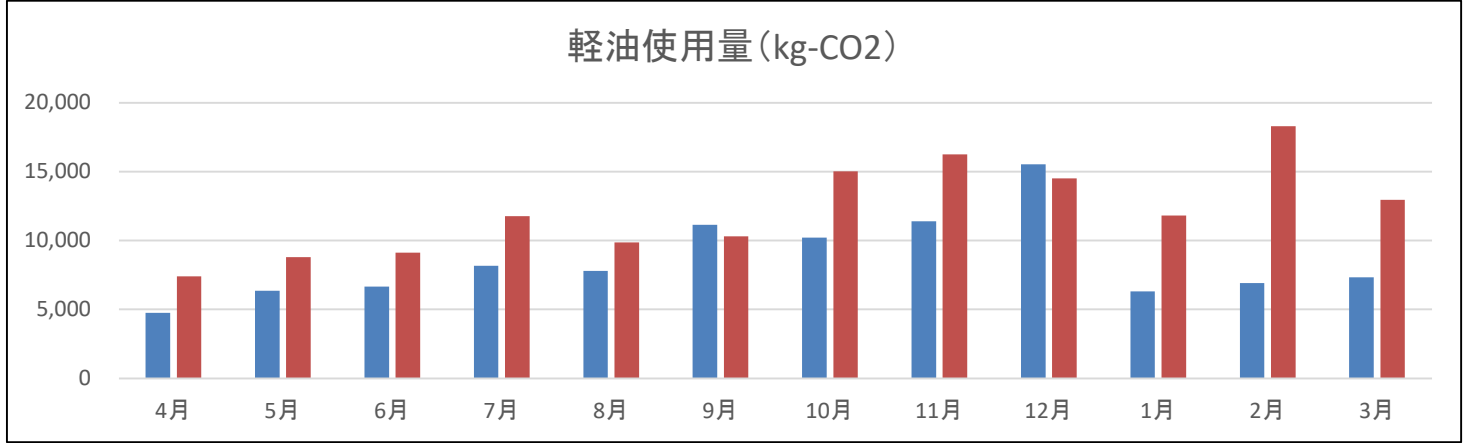


	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	累計
2023年	20,596	21,409	23,577	35,501	20,054	28,184	40,650	30,894	23,198	6,504	36,856	63,685	351,108
2024年	56,639	34,146	24,390	28,726	28,455	17,073	35,230	30,081	45,528	17,886	12,195	13,821	344,170

自動車燃料による二酸化炭素の削減	評価	取組結果と次年度の取組内容
担当：土木部 責任者：環境管理責任者		・地震・豪雨による道路災害復旧工事の増加により移動距離が増え、軽油のCO ₂ 排出量が増加した。 次年度の取組：継続して行う アイドリングストップやエコドライブの指導を行う
・アイドリングストップの徹底	○	
・エコドライブの推進と徹底	△	
・効率的な収集運搬ルート計画の実施	△	



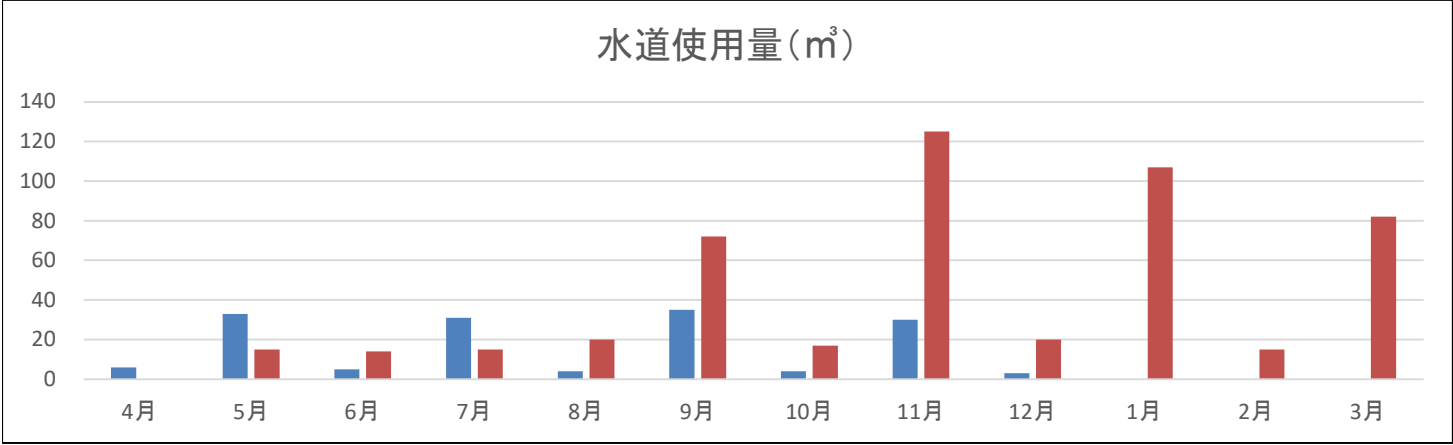
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	累計
2023年	2, 489	2, 868	3, 134	3, 248	3, 475	3, 359	2, 932	2, 677	3, 624	2, 220	2, 264	2, 160	34, 452
2024年	1, 970	1, 902	3, 598	3, 661	3, 243	3, 095	2, 636	2, 406	3, 232	3, 141	3, 898	4, 225	37, 006



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	累計
2023年	4, 760	6, 360	6, 654	8, 161	7, 799	11, 140	10, 199	11, 396	15, 521	6, 318	6, 912	7, 338	102, 558
2024年	7, 399	8, 796	9, 107	11, 767	9, 853	10, 312	15, 026	16, 239	14, 500	11, 809	18, 287	12, 957	146, 052

廃棄物排出量の削減	評価	取組結果と次年度の取組内容
担当：土木部 責任者：環境管理責任者		・分別方法の遵守徹底, 秤量徹底は実施されている。 次年度の取組：継続して行う
・一般廃棄物の分別方法(珠州市)を遵守徹底	○	
・排出量の秤量徹底	○	

水使用量の削減	評価	取組結果と次年度の取組内容
担当：総務部 責任者：環境管理責任者		・冬季に利用していた水道を、災害復旧工事事務所に貸与し、豪雨災害の被害があり清掃にも使用した為、使用数量が増加した。 ・事務所内の節水の効果があった。 次年度の取組：継続して行う
・水道メータ検表のデータ記録と掲示(1ヶ月に1回)	○	
・『節水にご協力を!』のポスターを流し等に掲示	◎	
・毎月第1水曜日に水道配管の漏洩点検を実施する。	△	



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	累計
2023年	6	33	5	31	4	35	4	30	3	0	0	0	151
2024年	0	15	14	15	20	72	17	125	20	107	15	82	502

7. 2024年度の目標、実績、評価

環境目標	単位	2023年度 実績基準	2024年度 目標	2024年度 実績	達成率 (実績／目標)	評価
売 上 高	百万円	504	1,411	1,417	1.00	○
二酸化炭素排出量 の削減	kg-CO2	616,458	610,293	664,712	1.09	△
売上高原単位	kg-CO2 /百万円	1,223	432	469	1.08	△
購 入 電 力	kg-CO2	124,688	123,441	133,786	1.08	△
A 重 油	kg-CO2	351,108	347,597	344,170	0.99	○
軽油	kg-CO2	102,558	101,532	146,052	1.44	×
ガソリン	kg-CO2	34,452	34,107	37,006	1.08	△
灯油	kg-CO2	3,653	3,616	3,598	0.99	○
廃棄物の中間処理 量	トン	8,092	—	1,535	—	—
* リサイクル率の向上 (建設業廃棄物)	%	99.8	97.0	99.8	1.03	△
水使用量の削減	m ³	151	149	151	1.01	○
目標設定	2023年度実績×0.99=2024年度目標					
評価基準	○ 達成 △ 10%未満未達成 × 10%以上未達成					

2023年5月・2024年1月の地震により災害復旧工事や合材製造数量が前年度に比べて大幅に増加した為、A重油や

軽油・ガソリン・灯油も増え、目標達成ができなかった。また、売上高に対しての目標値にするべきであった。

地震による停電や断水により電力や水は減少している。

*リサイクル率=再資源化量/産業廃棄物排出量(建設業廃棄物)

8. 環境関連法規等の順守評価

チェック日 2025年4月11日

法規名	順守事項	当社の順守内容	順守評価
廃棄物の処理及び清掃に関する法律（廃掃法）	1. 産業廃棄物の保管は保管施設で行う。	掲示板(600×600以上)	○
	2. 運搬処分は許可を受けたものが行う。	許可証(番号、有効期限、契約書等)	○
	3. 管理票(マニフェスト)の交付(工事)	運搬処分は90日、最終処分は180日	○
	4. マニフェストの使用状況の報告(工事)	前年4/1から3/31までを6月末までに報告	○
建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律(建設リサイクル法)	対象工事(80m ² 以上の解体等)は	国の目標:2010年再資源化率95%	○
	1. 分別(コンクリート、コンクリート及び鉄からなる建設資材、木材、アスファルト・コンクリート)再資源化を行う義務がある。	当社目標:100%を目標とする。(アスファルト)(分別、処理フロー、マニフェストで量管理)	
	2. 請負物件に関する届出義務	工事届出書 許可証(番号、有効期限、契約書等)	○
特定家庭用機器再商品化法(家電リサイクル法)	1. 排出時の引き渡し	エアコン、冷蔵庫、テレビ、洗濯機	—
	2. リサイクル料金の支払い		
使用済自動車の再資源化等に関する法律(自動車リサイクル法)	1. 使用済自動車の引取業者への引き渡し	営業用自動車	—
大気汚染防止法(大防法)	ばい煙発生施設等設置の事前届出と排出基準の遵守	ばい煙は1m ³ ~4000m ³ で届出をしている	○
		測定は年2回行っている	○
消防法(危険物関連)	消防法で規定する危険物を指定数量以上貯蔵、取扱い、運搬する場合に適用		
	1. 貯蔵所、取扱所の設置、変更許可	平成2年9月許可 平成28年4月届出者氏名変更届出許可済	○
	2. 危険物取扱者の選任	平成28年4月選任者氏名変更届出許可済 資格:危険物取扱者乙類4種	○
騒音規制法	1. 指定区域の確認	工事現場の指定区域の確認	○
	2. 事前届出	指定区域では7日前まで市町村長へ	○
	3. 基準の遵守	指定区域では基準を超えないこと	○
振動規制法	1. 指定区域の確認	工事現場の指定区域の確認	○
	2. 事前届出	指定区域では7日前まで市町村長へ	○
	3. 基準の遵守	指定区域では基準を超えないこと	○
浄化槽法	1. 浄化槽の設置は知事に届出	事務所建築時に設置届出済み	○
	2. 浄化槽設置後の法定検査(水質検査等)	1回/年の法定点検	○
	3. 保守点検	10~15人以下用 1回/3ヶ月の保守点検	○
	4. 浄化槽保守点検は、浄化槽管理者が行う	点検業者との契約	○
道路運送車両法	1. 車両の管理	走行距離の報告	○
	2. 車両の整備	6ヶ月点検・整備又は1年点検・整備	○

○順守できた —該当なし

環境関連法規への違反、訴訟等の有無

過去3年間、環境関連法規の違反はなく、訴訟等についてもありませんでした。

また、行政からの指導、近隣からの苦情等もありませんでした。

随時見直しを行い、法規等の厳守に努めます。

9. 代表者による全体評価と見直しの結果

2024年1月の地震や2024年9月の豪雨災害で道路災害復旧工事が増え、前年度より行政の工事が増加した。

次年度以降も、災害復旧工事やそれに伴う合材製造数量が増えるは見込まれる。しかし2024年度も地震災害や豪雨災害という特殊な事情があった為、継続的にあるわけではないので、引き続き珠洲市内近隣の営業活動を行い、売上向上を目指す。

また、安全衛生委員会等でエコドライブの継続的指導・周知に取り組む。今後も節電はもちろん、節水も継続して行っていく。

従業員全員に環境保全活動の取り組みの重要性を意識させ、目標達成に向けて、今後更に取り組んでいきます。

2025年 3月31日

代表取締役社長 荻原 哲也